

本研究の目的

- 『清流環境作文コーパス』を用い、発達段階において、児童が作文の書き出しおよび結びにどのような形式や内容等を好んで用いるのかを明らかにするため、2年生、4年生、6年生が書いた作文を分析する。
- なお、書き出しは冒頭の1文とし、結びは結尾の最後の1文とする。

『清流環境作文コーパスVer.1.0』について

- 2019年度の「清流環境作文コンクール」応募作品を電子化した、小学校1年生から6年生の作文による112万形態素規模のコーパスである。
- コーパスは内容により、4分類されている。本研究では「A イタイタイ病に関するもの」を中心に、イタイタイ病について書かれている作文のうちの、2年生、4年生、6年生が書いた470編(2年6編、4年75編、6年389編)を調査・分析する。

書き出しについての分析

本研究における書き出しの類型 太田(1965)などをもとに作成:

大分類	中分類	例	2年 6	4年 75	6年 389
1.人物的発想	自己中心的発想	私はイタイタイ病について調べました。	2 33.3%	45 60%	266 68.3%
	人物中心の発想	みなさんは「イタイタイ病」を知っていますか。	1	0	2
	共同体的な発想	私たちはとてもめぐまれていると思います。	0	0	20
2.日・時的発想	特定な時から	きょう、イタイタイびょうしりょうかんに行きました。	1	3	18
	不特定な時から	昔、この富山市婦中町にある神通川にカドミウムというものがたくさんふくんで流れてきました。	0	1	7
3.場所的発想	場所から	富山県は、水がきれいでおいしいです。	1	1	11
	場面から	社会の授業で四大公害病について勉強しました。	0	0	4
4.テーマからの発想	テーマから	イタイタイ病は、神通川の上流から流れてきたカドミウムが原因の病気だ。	1	20	45
	テーマに関連する事物から	公害病を二度と起こしたくない。	0	4	4
5.事象・状態からの発想		ここに一枚の写真があります。	0	0	1
6.心理状態からの発想		「今、起こったらどうなってしまうのだろう・・・」語り部さんのお話を聞いたとき私はこう思いました。	0	1	10
7.抽象的な説明からの発想		真実を真実として伝えていくことがぼくたちの使命だと思う。	0	0	1

2年生の書き出しの特徴

- 「1. 人物的発想」のうちの「自己中心的発想」からの書き出しが最も多いが、内容を見ると(1)のように、「過去の経験・行動・見聞」について書かれている。
(1)わたしは、イタイタイびょうしりょうについて知らなかったのかぞくに聞いてみました。
- 「4. テーマからの発想」の「テーマから」においても、書き出しは「イタイタイ病は」で始まっているが、内容は「過去の経験・行動・見聞」について書かれている。
→2年生の書き出しの内容は、自身の「過去の経験・行動・見聞」(5(83%))が大部分を占める。

4年生の書き出しの特徴

- 「1. 人物的発想」と「4. テーマからの発想」で約9割を占めるが、その内容は、2年生と同様、「過去の経験・行動・見聞」(43(57%))が最も多い。
- それだけではなく、(2)のような「これから書くことの予告」をしているもの(6(8%))や、(3)のように「感じたこと・思ったこと」が書かれているもの(3(4%))も見られる。
(2)わたしは、安全な水の大切さについて考えてみました。
(3)わたしは、イタイタイ病になった人をかわいそうだと思います。

6年生の書き出しの特徴

- 過去の経験・行動・見聞(159(41%))が最も多いが、その他に、4年生では見られなかった、(4)のような「願望」を述べたもの(58(15%))や、(5)のように「読み手への問いかけ」(4(1%))がされているものが見られる。
(4)ぼくは、イタイタイ病などの公害病が二度とおこらないでほしいです。
(5)みなさんは「イタイタイ病」を知っていますか。

結びについての分析

本研究における結びの類型 :

大分類	例	2年	4年	6年
1. 願望	水をムダづかいせず、大切につかいたかったです。	3 50%	37 49.3%	209 53.7%
2. 意志	神通川はこれからもきれいな川で、そして、イタイタイ病をわすれないようにします。	1	3	19
3. 意志・主張	これからもきれいな水が飲めるように一人一人努力しなければいけないと思いました。	1	11	55
4. 感じたこと・思ったこと	イタイタイ病のことを知り、自然の大切さが学べてよかったです。	1	19	56
5. 考え	二度と公害を繰り返さず美しく豊かな環境を未来に引き継ぐこと、それが私たちの使命だと思いました。	0	5	37
6. 事象の説明	この工事は二千十二年に終わりました	0	0	9
7. 前で述べたことのまとめ	これがぼくが出した答えです。	0	0	3
8. 読み手への呼びかけ	みなさんも、この先イタイタイ病を起こさない、ちょっとした気づかいを心がけましょう。	0	0	1

2年生の結びの特徴

- 結びの内容を見ると、自身の身近な行動・活動に関して書かれている。
- 書き出しも自身の過去の経験・行動・見聞についてであることから、自身の過去の経験・行動・見聞によって文章を始め、自身の今後の行動について述べて文章を終えるというように、自己中心的発想が根本にあると考えられる。

4年生の結びの特徴

- 書き始めは自身の過去の経験・行動・見聞やイタイタイ病についてであるが、結びでは、大きな願望や、当事者の立場になって想像したことなど、より広い視点で物事についての考えを述べることで文章を締めている。
- 身近なことから出発し、より発展的な内容で文章を終えているものが見られる。

6年生の結びの特徴

- 自身の過去の経験・行動・見聞だけではなく、考え・思いを述べたり、読み手への問いかけがされたりしているが、結びにおいても、書き出しと対応させるかのように、自身の考え・思いを述べて締めくくられているものが多い。
- 次の(6)や(7)のように、書き出しと結びの内容が一貫しており「書き出しと結びを読めば文章の意図がほぼ推察できる」(櫻本1996: 404)ようなものも見られる。

- (6)【書き出し】私たちはとてもめぐまれていると思います。
【結び】これらのことを実行し、公害を絶対にわすれず、そして今楽しく生活できている幸せさをわすれずに生きていきたいと思いました。
- (7)【書き出し】私がイタイタイ病について感じたことは、この世の中はどんどん便利になっていくけれど、人々はこのせいでアレルギーや病気になっていくのだなと感じました。
【結び】だから私は病気に気をつけながら、この便利な世の中を元気に生きていきたいです。

謝辞
本研究は、科研費基盤研究(B)「コンクール応募作文を資料とした児童の文章作文能力の評価と発達段階の包括的研究」(2020年-2024年、代表者:宮城信)による成果の一部です。

文献
石黒圭(2017)。「説得力のある全体構造の作り方」石黒圭(編)『わかりやすく書ける作文シラバス』くろしお出版, pp.225-244.
今田水穂・宮城信・阿部藤子・清水由貴子(2021)。「清流環境作文コーパスVer.1.0」
太田康治(1965)。「作文指導 その反省と考察—書き出し文による発想の類型及びその傾向について—」『教育実践研究集録/新潟県立教育センター』2, pp.9-14.
櫻本明美(1996)。「説明的表現の指導—書き出しの工夫に着目して—」『神戸親和女子大学研究論叢』30, pp.400-422.
田近洵一・井上尚美・中村和弘(編)(2018)。「国語教育指導用語辞典〔第五版〕」教育出版
松崎史周(2015)。「中学生の作文に見られる『主述の不具合』の分析—出現傾向から学習者の表現特性を探る—」『解釈』61, pp.12-20.
宮城信・松崎史周(2015)。「児童作文における『理由述べ』表現」『全国大学国語教育学会国語科教育研究:大会研究発表要旨集』129, pp.157-160.